

のじり

庁舎だより

6

2016
No. 74



撮影地：野尻町東麓

特集

地震が起きたら・・・

のじり聞き書き vol.6 畜産の歴史

【特集】地震を知る・防ぐ・備える

熊本県を中心に九州中西部で甚大な被害をもたらした熊本地震。野尻町区域でも震度4を記録しました。あらためて地震について知り、いつ時のために日頃からの備えが大切です。

小林市近辺で発生・観測した主な地震（震度4以上）

発生日	震源	規模	付近の震度
昭和43年2月21日	鹿児島県薩摩地方	6.1	京町6
平成20年5月11日	宮崎県南部山沿い	4.1	小林市4
平成24年6月4日	宮崎県南部山沿い	4.4	小林市真方4
平成28年4月16日	熊本県熊本地方	7.3	野尻4

※規模はマグニチュード

えびのー小林地震において想定される地震規模と建物被害

想定する地震	被害棟数（木・非木造）	
	全壊・大破	半壊・中破
震度 6～6強 (マグニチュード 6.5)	1,097棟	4,060棟

※参考※
想定地震
「宮崎県地震被害想定調査」より
被害棟数
「小林市地域防災計画」より



昭和43年えびの地震

6強

耐震性が高い **耐震性が低い**

【震度6強】

- はわないと動くことができない。飛ばされることもある。
- 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。
- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える。
- 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。

○建物倒壊を防ぐ

耐震診断や耐震補強工事を行う。市では地震に備えて、派遣・補助事業などがあります。

- ①耐震アドバイザー派遣事業
- ②木造住宅耐震診断補助事業
- ③木造住宅耐震改修設計補助事業
- ④木造住宅耐震改修補助事業

事業内容や対象など
詳細は 管財課 まで
TEL 23 - 0222

○家具の転倒を防ぐ

家具が倒れ、体が下敷きになったり、逃げる際の妨げになったりしないように、家具の転倒防止対策を施す。

○通電火災を防ぐ

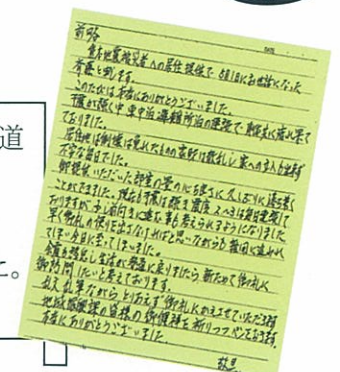
避難する際にブレーカーを落とす。通電火災防止器具を設置する。



通電火災とは？・・・地震などに伴う停電が復旧する際に、破損した電化製品や電気配線から発火する火災。

トピック！ 被災者支援について

4月23日から5月8日まで、行政と各市民団体が協力して、地震の被災者に対して『道の駅ゆ〜ぱるのじり』の宿泊・入浴施設を無料提供いたしました。期間中は18名の方が利用され、後日お礼のお手紙をいただきました。受け入れに際し、ご協力をいただきました各市民団体の皆様、ありがとうございました。なお、入浴施設の提供については、現在も引き続きおこなっております。



非常用持ち出し品チェック表

<input type="checkbox"/> 持ち出し用リュックサック
<input type="checkbox"/> 現金（小銭を多めに）
<input type="checkbox"/> 預貯金通帳
<input type="checkbox"/> 印鑑
<input type="checkbox"/> 健康保険証
<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ
<input type="checkbox"/> 懐中電灯
<input type="checkbox"/> 電池（ラジオや懐中電灯用）
<input type="checkbox"/> 携帯電話（充電器を含む）
<input type="checkbox"/> 家族、親戚等の連絡先を書いたメモ
<input type="checkbox"/> 飲料水（最低3日分）
<input type="checkbox"/> 非常食（最低3日分）
<input type="checkbox"/> 衣類
<input type="checkbox"/> タオル・毛布
<input type="checkbox"/> ポリ袋
<input type="checkbox"/> 薬（常備薬・持病薬）
<input type="checkbox"/> 筆記用具
<input type="checkbox"/> 防災ずきんかヘルメット
<input type="checkbox"/> 紙皿・紙コップ・割り箸
<input type="checkbox"/> チャック付きビニール袋（圧縮袋）
<input type="checkbox"/> ブルーシートまたはテント
<input type="checkbox"/> カセットコンロ（ボンベとセット）
<input type="checkbox"/> 鍋
<input type="checkbox"/> 工具
<input type="checkbox"/> 爪切り
<input type="checkbox"/> ラップ
<input type="checkbox"/> ポリ容器（給水用）

- 持ち出し袋は男性 15 kg、女性 10 kgが目安
- 自分や家族の状況に応じて必要な物を選ぶ（オムツや生理用品など）
- 定期的に中身をチェックする



災害発生直後は、公的な支援が十分に行き届かないかもしれません。3日間は自立した生活が出来るよう、普段から備えましょう。

地震が発生した時の行動

地震発生！

机の下などで身を守る。火を消し、玄関を開けて逃げ道を確認。

靴をはき、火元を確認。

近所で出火はないか、隣近所の状況も確認。

テレビやラジオ、防災行政無線で正確な情報を把握して、危険な場合はすぐに避難。

避難する場合

- ・ガスの元栓を閉め、ブレーカーを落とす。
- ・不要な連絡は避け、災害伝言ダイヤルを利用
- ・近所に声を掛け合う
- ・移動中はブロック塀や落下物に注意する。
- ・消火や救出活動にはみんなで協力する。（ただし、活動時は自身の安全が最優先）

地震災害時の避難広場

紙屋小学校グラウンド
紙屋中学校グラウンド
野尻小学校グラウンド
野尻町保健福祉センター駐車場
野尻中学校グラウンド
大塚原グラウンド
栗須小学校グラウンド
三ヶ野山グラウンド

大雨災害時の避難施設

紙屋老人福祉館（やすらぎ荘）
野尻町保健福祉センター
いきいきコミュニティセンター

※避難時は、最新情報を確認してください。



※期間中の「ゆ〜ぱるのじり」

畜産物語 ①

畜産の歩み

家族で営む。命を育む。地域を支える畜産業。
地域おこし協力隊の細川です。5月号の特集「和牛オリンピック三連覇へ挑む」に続き、今月から「畜産」について特集していきます。初回は、古くから地域に根付き時代と共に変化してきた、畜産の昭和までの歴史を紹介します。

野尻畜産年表

使役から用畜目的へ

明治から大正にかけて軍馬や運搬用、農用など使役目的だけでなく、用畜（肉・卵・毛・乳・子などを得るために飼育）目的も高まる。第二次世界大戦後は、トラクターなど技術進歩もあり、牛は肉用目的に変更された。馬の飼育農家は極端に減少し、昭和30年代後半には、使役馬は少なくなった。



▲使役馬が活躍した頃の田植え風景。

町内各所に簡易集乳所



簡易の集乳所は、ユニッククーラーで冷却する水槽式で、個人で持ち寄った乳缶を漬けるのは、乳質の保全には適していたが、運ぶのは重労働だった（30~35kg以上の重さ！）。

戦前は自家用食肉としての価値の他、産卵を主体としたものだった。現在は採卵養鶏農家はほとんどなくなり、ブロイラー（短期間で急速に成長させる狙いで作られた品種）生産農家が主になっている。



小林に家畜市場が再編されるまでは、小林駅まで子牛を連れて、唯一の輸送手段だった貨車輸送で県外へ引き渡すのが普通だった。三輪車が普及する前は、野尻から小林駅まで歩いて子牛を連れて行っていたそうで、大変な苦勞だった。

子牛を連れて小林駅まで歩いた



戦前 発展と農業経営改善

- 一九三三（昭和六）有畜農業奨励規則公布
- 一九三六（昭和十）県種畜場内に役馬利用指成所が設置され女学生や婦人が馬耕技術訓練を実施。
- 一九四七（昭和二二）長岡養鶏場が五百羽から始めて二千羽まで増羽。
- 一九四八（昭和二三）当時の東麓運動場にテントを張って、春と秋に子牛のセリ市が開催される。
- 一九五〇（昭和二五）児湯郡川南町から三頭の乳牛を導入し、酪農・乳牛が始まる。溝尻牧場が開設され、搾乳・殺菌、市乳販売が行われる。
- 一九五三（昭和二八）大塚原に家畜市場が新設・移転。
- 一九五七（昭和三二）肉豚の共同出荷が始まる。
- 一九六一（昭和三六）和牛は役用牛が肉用牛と位置付けられる。
- 一九六六（昭和四一）小林に家畜市場が移転。
- 一九八二（昭和五七）第四回全国和牛能力共進会にて、野尻町から出品された和牛が農林大臣賞に輝く。

<明治~大正> 需要増加・発展し始める

- ・戦争需要や食生活の変化により、牛馬の生産を中心に畜産の需要が高まる。
- ・資本主義経済の中で農産物の商品化が進み、農業者の業としての畜産が発展し始める。
- ・使役目的だけでなく、用畜目的も高まる。
- 1914（大正3）、東麓に野尻種付所が開設！



馬頭観音

馬の保護神として信仰され、人々の親睦を深める聖なる地として存在し伝承されてきた文化遺産。町内には41箇所祀られています！



▲切畑馬頭観音。現在は4月15日を中心に日曜日に切畑集落全員で清掃と参道の整備を行っている。

松山検査場馬頭観音。毎年4月の総合畜産共進会と共に、神仏両方式による祭事が行われる。



野尻町畜産史

野尻町畜産史編纂委員会が編纂し、平成20年11月に行われた、「野尻町畜産史」。畜産の歴史が詳細に記載され、限定100冊で関係者のみに配布されているので、大変貴重な本です。当企画もこちらの内容を参考にしています。



市立図書館野尻分館でも貸出できます！

次号からは、畜産に関わってきた方々のインタビューや、和牛・酪農・養豚・養鶏、分野ごとにより深く紹介していきます！

町内の養豚は県同様に、在来種を自給目的で飼養し、次第に増加。繁殖豚としてはパークシャー種を導入して改良して進めた。



▲数十種類のティーを実際に淹れて味や香りを確認する

ティーコンシェルジュの資格取得でハーブ活用を目指す

地域おこし協力隊 のじり版 協力隊通信

今西 哲也 細川 絵美

ティーコンシェルジュの資格取得を目指し、三股町でハーブティー等のお店を開いている先生のもとで勉強を始めました。ティーコンシェルジュとは、「薬に頼らない身体づくり」のコンセプトをもとに民間療法として世界のハーブティーや日本茶、紅茶、中国茶、コーヒーを使い分けることができるスペシャリストです。効能や歴史、ブレンド方法などを学び、淹れ方や茶葉の品質で香りや味が大きく変わること驚き、奥深さと魅力を感じています。ハーブが町の魅力の一つになるよう、学んだことを生かし、葉草センターや地域の方々と連携し、商品やイベントの企画・情報発信などを行ってまいります！

野尻原用水に通水

5月10日に野尻原用水の通水が行われました。この日より用水路に水が流れ、野尻原一帯の田畑に水が入る様になります。この日の為に4月中旬から準備を始め、土地改良区の方々を中心に、地域で用水路周辺の草払いや清掃等を行いました。当日は大沢津から下流8kmの用水路に水を流し、木片や枯れ葉等のゴミを撤去する作業を私も参加させて頂きました。

この日より全長18kmに及ぶ用水路に水が流れ、翌日の朝、多くの場所での音を聞き、夜にはホテルもチラホラ見かけ、田畑に生命を強く感じる様になりました。6月は田植えにも挑戦したいです。



▲用水路の清掃

●野尻町区地域協議会長 中松勝利氏よりお礼の挨拶 **地域協議会の発展的解散にあたり**

光陰矢の如し、小林市と野尻町が合併し計画年月が過ぎました。町区民皆様の、合言葉として『合併して良かった!』と言って頂ける地域協議会を目指し、当面の課題と将来の子や孫の時代を勘案し徹頭徹尾※1、道理に基づいた協議を重ねて参りました。

時には議論もありましたが、『和を以って貴し、忤うこと無しを宗とす※2』本精神により個々の重要案件を具体的に精査し、市長への上申を図って参りました。

情緒や声の大きさに惑わされず、国家天下の道理を基本に先祖に恥じない様に野尻町区の当面の課題、まちづくり計画を思惟して、のじりまちづくり計画への提言が出来ました。

これも又一重に町民の皆さま方の暖かいご支援とご指導ご鞭撻のお陰と感謝申し上げます。

今後は、きずな協働体『輝けフロンティアのじり』として生まれ変わりました。

野尻町の開拓者精神 (Frontier Spirit) を基本に、まちづくりの主役は町民一人ひとりが、希望を持って生き生きした暮らし、皆様が誇れるまち、多くの人で賑うまち、野尻を愛し人と人地域を結ぶ、新たなコミュニティとして挑戦出来る事に感謝しお礼の言葉といたします。

万事如意※3：地域協議会一同 (原文のまま)

●注釈

てつとうてつび

※1「徹頭徹尾」 最初から最後まで言動や態度などが、一貫するさま。

わもとうとさからなむね

※2「和を以って貴し、忤うこと無しを宗とす」

和をなによりも大切なものとし、派閥等のこだわりによる、争いをおこさぬことを根本としなさい。 (十七条憲法の一文)

ばんじによい

※3「万事如意」 “全てが思うとおりにになりますように”という祝福の言葉

住民交流委員会から 地域の団体をご紹介します！

⑭ 野尻小校区まちづくり協議会 (会員数13名)

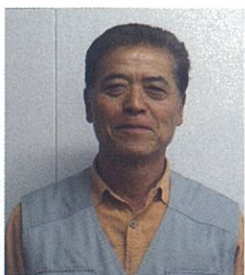
(活動内容)

〔東麓六月灯まつり〕

台風接近により中止となった昨年の気持ちと企画内容も込めて、開催できるよう協議会及び関係団体等で精力的に会議を行っています。小学生児童作成の灯籠を会場に飾りつけますので、多くの皆様のお越しをお待ちしております。

開催日：7月23日(土)

場所：野尻小学校



大畑孝壹 会長

(大畑会長のお話)

六月灯まつりは地域の祭りとして昔から開催されてきました。今回東麓での開催目的は、祭りを通じての地域住民のつながりと、六月灯まつりがどのような理由で始まった催事であるのかを再認識し、次の世代への橋渡しの一環となることとしています。

また、将来は東麓をきっかけに紙屋と三ヶ野山でも祭りを再開して町区域全体の祭りとなると良いと考えています。

事業内容や申請方法などの詳しいことは事務局まで。

- 【その他】 団体の申請資格、事業内容等の審査があります。
- ※予算には限りがあります。
- 【募集期間】 平成28年5月1日～12月28日
- 【交付金の対象事業例】 子ども見守り活動、自主防災事業、地域の絆を目的とした事業、伝統・文化承継事業など
- ※飲食等に係る経費は対象外

地域活性化交付金のご紹介
「輝けフロンティアのじり」では、野尻町区域の活性化のため、地域活動団体が行う地域活性化事業に対して交付金を交付します。

6月のお知らせ

のじこぴあフリーマーケット（仮称）

のじりこぴあで初開催のフリーマーケット！
月例のストリートライブも同時開催します。
出店などの詳細はお問い合わせください。

※内容は変更となる場合がありますので、ご了承ください。

日 程 6月26日(日曜)

時 間 午前10時～午後3時

場 所 のじりこぴあ

問 い のじりこぴあ管理事務所 TEL44-3000

トピック！ 5年後・10年後の「のじり」

「のじりのまちづくり計画」が完成。7月中の配布に向けて準備中です。これは、一人ひとりが積極的に参加するまちづくりの行動計画として、各組織や住民の関わり・役割を整理するとともに、計画実現に向けた考え方を整理したものです。今後はこの計画の方針に沿って、まちづくりが進められます。

〇のじりのまちづくり計画（本冊） 各組1部

〇のじりのまちづくり計画（概要版） 各世帯1部



最近のできごと

宝さがし大会 in のじりこぴあ



4月29日、宝さがし大会がのじりこぴあで開催されました。天候にも恵まれ、市内外から親子など150人が参加。園内の各所に設置されたクイズを解いて、隠された宝箱を探しました。

のじりばら祭スタンプラリー



5月7日から15日まで、のじりこぴあ観光バラ園、萩の茶屋、のじりアグリサービスにおいて、のじりばら祭スタンプラリーが開催されました。来場者は色や形の違うバラを楽しみながら、カメラに収めていました。

同時開催のつるばらまつり（のじりアグリサービス）の新鮮な野菜販売等も好評でした。

ダブル 野尻町区域の野球チームが県大会にW出場

野尻野球スポーツ少年団



野尻クラブスポーツ少年団



野尻町区域にある2つの野球チーム「野尻野球スポーツ少年団」と「野尻クラブスポーツ少年団」が『第47回宮崎県学童軟式野球大会』に同時出場します。両少年団は5月7日、8日に開催された同大会の西諸地区予選（小林市・えびの市・高原町）において見事勝ち抜き、県大会出場の切符を手に入れました。

県大会は6月11日（土曜）、12日（日曜）に小林市（小林市総合運動公園野球場他）で開催されます。



6月 イベント・行事&ごみの収集

日	月 (1~3区)	火 (4~6区)	水 (全区)	木 (1~3区)	金 (4~6区)	土
29	30 燃やす/生ごみ	31 燃やす/生ごみ	01 廃プラ	02 ・歯科講座 (子育て支援センター) 生ごみ/紙類	03 生ごみ/紙類	04 ・春のコンサート (のじりこびあ)
05 ・犬のしつけ教室 (のじりこびあ)	06 燃やす/生ごみ	07 燃やす/生ごみ	08 廃プラ	09 生ごみ/紙類	10 生ごみ/紙類	11 ・参観日 (野尻保育園) (栗須保育園)
12 ・父親参観日 (野尻幼稚園)	13 ・田植え (栗須小学校) 燃やす/燃やさない/生ごみ	14 燃やす/燃やさない/生ごみ	15 ・わくわくタイム (子育て支援センター) 廃プラ	16 ・プール開き (紙屋小学校) 生ごみ/紙類	17 生ごみ/紙類	18
19 ・参観日 (紙屋小) 家庭の日 リサイクルの日	20 燃やす/生ごみ	21 ・食の教室 (子育て支援センター) 燃やす/生ごみ	22 廃プラ	23 生ごみ/紙類	24 生ごみ/紙類	25
26 ・フリーマーケット (のじりこびあ) ・参観日 (紙屋中)	27 燃やす/生ごみ	28 燃やす/生ごみ	29 廃プラ	30 ・祖父母参観 (野尻幼稚園) ・国際交流 (子育て支援センター) 生ごみ/紙類	01 生ごみ/紙類	02 ・夏祭り (野尻保育園)
03	04 燃やす/生ごみ	05 ・プール開き (野尻保育園) 燃やす/生ごみ	06 ・プール開き (紙屋保育園) 廃プラ	07 生ごみ/紙類	08 ・夏祭り (野尻幼稚園) 生ごみ/紙類	09 ・夏祭り (栗須保育園)

家族で『のじりこびあ』がお得な日



Vol. 24

やまなみ
山波 あすかさん (後陣原)
(昭和55年5月21日生まれ)

4月よりライフスタイルが変わり、慣れること・覚えることに、ただただ必死です。そんな中、家族の支えのありがたさや、子どもの成長をしみじみと感じました。子どももやればできるんですね。私も毎日が勉強です。子どもに負けないよう頑張ります。

編集後記

4月に発生し、今なお余震が続いている熊本地震に対して、町区域内でも個人・団体を問わず様々な支援の輪が広がっており、あらためて『絆』の大切さを感じました。同時に、「もし近くで大地震が起きたら…」と考え、地震の特集を組んでみました。皆さんの身の周りの備えは万全ですか? (佐藤)